

## 第20週（平成30年5月14日から5月20日まで）の集計結果

### コメント

#### 【今週の傾向】

○感染性胃腸炎は、定点あたり11.6人で、先週（第19週 定点あたり11.0人）と横ばいとなっています。

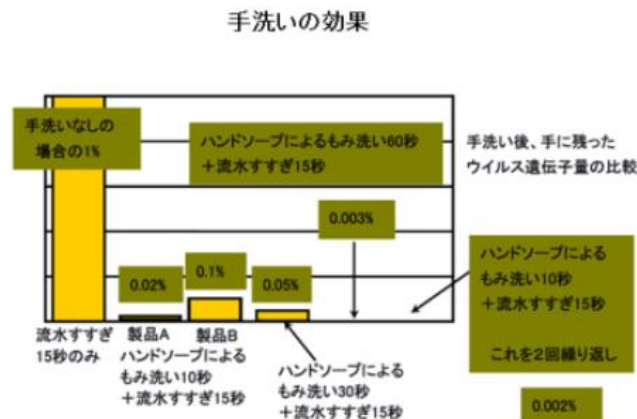
○A群溶血性連鎖球菌は、定点あたり5.6人（先週：第19週 定点あたり6.9人）とやや減少しました。  
春から初夏にかけて流行する疾患です。例年に比べ、報告数が多い傾向にあります。

○百日咳（平成30年1月1日から全数報告疾患になりました）の報告が2件ありました。（6歳男児、80代男性）

☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

#### ○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。



出典元：東京都健康安全研究センター 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」

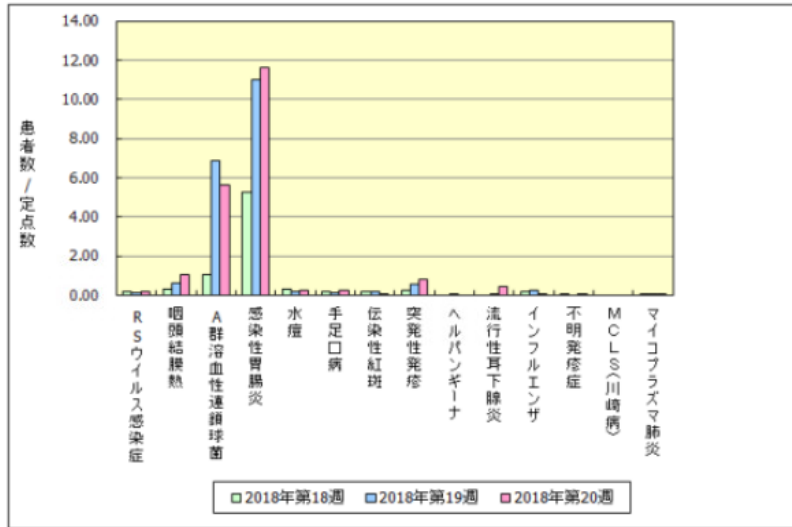
○市内では、海外渡航後に発症した患者等の報告があり、注意が必要です。

#### ■東京都感染症情報センター

・ [「感染症ひとくち情報 麻しんに注意しましょう！」](#)（外部リンク）

・ [「麻しんの流行状況」](#)（外部リンク）

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、  
 全数報告疾患となったため、発生状況については、[風しん・麻しん・百日咳発生状況](#)をご覧ください。



第20週疾患毎発生状況グラフ

	2018年 第15週	2018年 第16週	2018年 第17週	2018年 第18週	2018年 第19週	2018年 第20週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	3↓	1↓	3↑	2↓	2→	3↑	96
咽頭結膜熱	5↑	3↓	5↑	4↓	9↑	15↑	83
A群溶血性連鎖球菌	46↑	62↑	56↓	13↓	96↑	79↓	995
感染性胃腸炎	126↑	143↑	157↑	63↓	154↑	163↑	2248
水痘	3↓	3→	2↓	4↑	3↓	4↑	70
手足口病	0↓	1↑	1→	2↑	2→	4↑	33
伝染性紅斑	3→	1↓	5↑	2↓	3↑	1↓	27
突発性発疹	7↑	9↑	6↓	3↓	8↑	11↑	109
ヘルパンギーナ	0→	0→	1↑	0↓	1↑	0↓	3
流行性耳下腺炎	0↓	3↑	2↓	0↓	1↑	6↑	24
インフルエンザ	16↓	15↓	16↑	2↓	4↑	1↓	8091
不明発疹症	0→	0→	1↑	1→	0↓	1↑	15
MCLS(川崎病)	0↓	0→	1↑	0↓	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	1↑	0↓	2↑	1↓	1→	1→	17

第20週疾患毎発生状況表

第20週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	2	0	21	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0
1歳	0	6	1	29	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0
2歳	0	0	2	14	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0
3歳	1	2	6	26	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0
4歳	1	0	12	20	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
5歳	0	2	12	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6歳	0	1	13	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7歳	0	0	11	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9歳	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	1	14	10	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0
10～12歳											0			
13～14歳											0			
15～19歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	1	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	15	79	163	4	4	1	11	0	6	1	1	0	1

第20週年齢別発生状況表